

令和7年度 赤十字血液シンポジウム(近畿ブロック)

日時：令和8年2月14日(土) 13:00~17:00

会場：MEETING SPACE AP 大阪駅前(12:00 開場)

オンライン(Zoomウェビナー)
でも同時配信!!



参加無料・要事前登録

事前登録については、裏面をご覧ください

第一部 細菌スクリーニング導入後の医療機関・血液センターの状況

座長 堀池 重夫(京都府赤十字血液センター 所長)

(1)造血器疾患に対する血小板製剤の利用の現状と課題

田中 宏和 先生(近畿大学病院 輸血・細胞治療センター)

(2)血小板製剤の適正使用に向けた輸血部の取り組みと課題

岡 一彦 先生(大阪赤十字病院 輸血部)

(3)細菌スクリーニング導入後の血小板製剤供給体制

松田 清功(近畿ブロック血液センター 事業部 需給管理課)

第二部 免疫グロブリン製剤使用の現状と今後の見通し

座長 櫻井 嘉彦(奈良県赤十字血液センター 所長)

(4)神経内科における血漿交換とIVIG の実施状況

奥野 龍禎 先生(大阪大学大学院医学系研究科 脳神経内科)

(5)腎移植における免疫グロブリン製剤の役割と課題

田崎 正行 先生(新潟大学医歯学総合病院 泌尿器科)

主 催：日本赤十字社近畿ブロック血液センター

共 催：日本赤十字社血液センター連盟近畿地区

後 援：日本医師会、日本病院薬剤師会、日本看護協会、日本臨床衛生検査技師会、日本輸血・細胞治療学会

【参加登録について】

＜スマートフォン・タブレットから＞

右の二次元バーコードから参加登録をお願いいたします。

＜パソコンから＞

近畿ブロック血液センターホームページのトップページ

「重要なお知らせ」に掲載しているリンクから参加登録願います。

スキャンすると参加登録フォームが開きます。

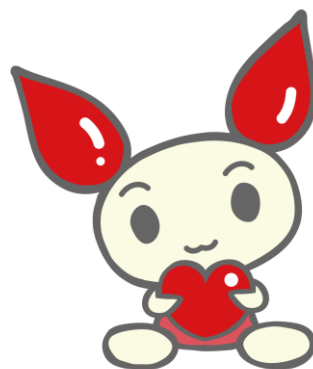
「令和7年度赤十字血液シンポジウム
(近畿ブロック)」参加申し込みフォーム



参加により以下の制度の単位取得が可能です。

- ・日本医師会生涯教育制度
- ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度
- ・日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度

※会場の収容人数は最大200名です。会場参加の登録が多数あった場合、オンライン参加に変更をお願いする場合があります。



参加登録期間：2025年12月15日～2026年1月30日

【会場アクセス】

大阪府大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビル B2階

- ・JR線「大阪駅」中央南口より徒歩2分
- ・阪神線「大阪梅田駅」より徒歩2分
- ・地下鉄御堂筋線「梅田駅」より徒歩2分
- ・阪急「大阪梅田駅」より徒歩5分



東京建物梅田ビル（AP大阪駅前） 外観

お問い合わせ先(事務局)
日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 学術情報課
大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目5番17号
☎ 072-643-1658